

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕 小学校国語科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■ <u>小学校国語科</u>の授業実践に求められる基礎的・基本的な<u>小学校国語科</u>の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■ <u>小学校国語科</u>の授業実践に求められる<u>小学校国語科</u>の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校国語科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p><u>小学校国語科</u>の授業実践に求められる基礎的・基本的な<u>小学校国語科</u>の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる話すこと・聞くことについての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる書くことについての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力 授業実践に求められる読むことについての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)

(2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校国語科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p><u>小学校国語科</u>の授業実践に求められる<u>小学校国語科</u>の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な言葉の特徴や使い方に関する事項（言葉の働き、話し言葉と書き言葉、漢字、語彙、文や文章、言葉遣い、表現の技法、音読、朗読）についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1,A3,A4,A5,B2)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な情報の扱い方に関する事項（情報と情報との関係、情報の整理）についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,A5,B2)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化、言葉の由来や変化、書写、読書）についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,A5,B2)

(3) 社会科

第5案様式 [1] 小学校社会科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。) 【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校社会科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校社会科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校社会科の授業設計を行い、小学校社会科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) 学習指導要領に関する知識 小学校社会科の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校社会科の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 教科の特質、教科の目標 小学校社会科の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された小学校社会科の目標、育成を目指す資質・能力及び社会的事象の見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1,B1)
 - 2) 教科の内容 小学校社会科の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された小学校社会科の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A2,B3)
 - 3) 教材開発・授業設計の視点 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校社会科の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A2,B3,B4)
 - 4) 指導計画の作成及び内容の取扱い 小学校社会科の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された小学校社会科の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3,A7,B4,B7)

(2) 学習指導の背景となる知識及び技能 小学校社会科の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校社会科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 発達論・学習論 小学校社会科の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考及び学力等の発達論や、問題解決学習等の学習論を理解している。
(SPeC-A6,B2,B4)
 - 2) 指導論 小学校社会科の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、地図帳、統計、年表等の教材及び資料の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B4,C5)
 - 3) 学習評価 小学校社会科の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B5,C3)

(3) 指導的实践力 小学校社会科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校社会科の授業設計を行い、小学校社会科の学習指導案をもとに授業場면을想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校社会科の授業設計を行い、小学校社会科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A7,B5)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場면을想定して、小学校社会科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A7,B5)
 - 3) 振り返り 小学校社会科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-A7,B5)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕小学校社会科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■小学校社会科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校社会科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■小学校社会科の授業実践に求められる小学校社会科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校社会科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p>小学校社会科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校社会科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な地理的環境と人々の生活についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A5)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な歴史と人々の生活についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A5)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な現代社会の仕組みや働きと人々の生活についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A5)

(2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校社会科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p>小学校社会科の授業実践に求められる小学校社会科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な地理的環境と人々の生活についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1,A3,A4,A7,B3)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な歴史と人々の生活についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1,A3,A4,A7,B3)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な現代社会の仕組みや働きと人々の生活についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1,A3,A4,A7,B3)

(4) 算数科

第5案様式 [1] **小学校算数科**の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校算数科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校算数科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校算数科の授業設計を行い、小学校算数科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** **小学校算数科**の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された 小学校算数科 の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** **小学校算数科**の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された**小学校算数科**の目標、育成を目指す資質・能力及び**数学的な**見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1,B1,B2,B7)
 - 2) **教科の内容** **小学校算数科**の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された**小学校算数科**の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A3, B1,B2)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された**小学校算数科**の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A4,B3,B4)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** **小学校算数科**の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された**小学校算数科**の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3,B4)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** **小学校算数科**の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校算数科の指導方法 に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** **小学校算数科**の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考及び学力等の発達論や、問題解決学習等の学習論を理解している。
(SPeC- B4,B5)
 - 2) **指導論** **小学校算数科**の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、教具及び資料（ワークシート含む）の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B4,B6,C5)
 - 3) **学習評価** **小学校算数科**の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B4,C3)

(3) 指導的实践力 小学校算数科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校算数科の授業設計を行い、小学校算数科の学習指導案をもとに授業場면을想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校算数科の授業設計を行い、小学校算数科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A4,B3,B4,B5,B6)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場면을想定して、小学校算数科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A4,B3,B4,B5)
 - 3) 振り返り 小学校算数科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-A7,B3)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式〔2〕小学校算数科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■小学校算数科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校算数科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■小学校算数科の授業実践に求められる小学校算数科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校算数科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p>小学校算数科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校算数科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

算数科

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な数と計算についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な図形についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な測定・変化と関係についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 4) 教科の領域・項目・分野4に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的なデータの活用についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)

(2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校算数科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p>小学校算数科の授業実践に求められる小学校算数科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な数と計算についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B3)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な図形についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B3)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な測定・変化と関係についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B3)
 - 4) 教科の領域・項目・分野4に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的なデータの活用についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B3)

(5) 理科

第5案様式 [1] **小学校理科**の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校理科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校理科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校理科の授業設計を行い、小学校理科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** **小学校理科**の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された 小学校理科 の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** **小学校理科**の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された**小学校理科**の目標、育成を目指す資質・能力及び**理科的な**見方・考え方について理解している。
(SPeC-A,B)
 - 2) **教科の内容** **小学校理科**の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された**小学校理科**の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A,B)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された**小学校理科**の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A,B)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** **小学校理科**の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された**小学校理科**の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A,B)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** **小学校理科**の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校理科 の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** **小学校理科**の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考及び学力等の発達論や、問題解決学習等の学習論を理解している。
(SPeC-A,B)
 - 2) **指導論** **小学校理科**の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、地図帳、統計、年表等の教材及び資料の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-A,B,C5)
 - 3) **学習評価** **小学校理科**の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-A,B,C3)

(3) 指導的实践力 小学校理科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校理科の授業設計を行い、小学校理科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校理科の授業設計を行い、小学校理科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A,B)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場面を想定して、小学校理科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A,B)
 - 3) 振り返り 小学校理科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-A,B)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 [2] **小学校理科**に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■ 小学校理科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校理科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■ 小学校理科の授業実践に求められる小学校理科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) **教科に固有の資質・能力、見方・考え方** **小学校理科**の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p>小学校理科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校理科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**エネルギー概念**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 2) **教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**粒子概念**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 3) **教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**生命概念**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)
 - 4) **教科の領域・項目・分野4に関する資質・能力** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**地球システム概念**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)

(1) **教科に固有の背景となる知識及び技能** **小学校理科**の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p>小学校理科の授業実践に求められる小学校理科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**エネルギー概念**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B4)
 - 2) **教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**粒子概念**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B4)
 - 3) **教科の領域・項目・分野3に関する背景となる知識及び技能** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**生命概念**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B4)
 - 4) **教科の領域・項目・分野4に関する背景となる知識及び技能** 授業実践に求められる基礎的・基本的な**地球システム概念**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B4)

(6) 音楽科

第5案様式 [1] **小学校音楽科**の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校音楽科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校音楽科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校音楽科の授業設計を行い、小学校音楽科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** **小学校音楽科**の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された 小学校音楽科 の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** **小学校音楽科**の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された**小学校音楽科**の目標、育成を目指す資質・能力及び**音楽的な**見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1, A2,A3,B1,B2)
 - 2) **教科の内容** **小学校音楽科**の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された**小学校音楽科**の内容及び内容事項（〔**共通事項**〕を含む）について理解している。
(SPeC-A3,B1,B2)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された**小学校音楽科**の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A3,A5,B3,B5)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** **小学校音楽科**の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された**小学校音楽科**の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3,A7,B4,B7)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** **小学校音楽科**の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校音楽科の指導方法 に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** **小学校音楽科**の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考、学力及び技能等の発達論や、音楽指導のメソッドやアプローチ等について理解している。
(SPeC-A1,B5,B6)
 - 2) **指導論** **小学校音楽科**の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、教材及び資料（楽譜やワークシート、映像資料及び音源等を含む）の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B3,B4,B5,B7)
 - 3) **学習評価** **小学校音楽科**の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B4,B5)

(3) 指導的实践力 小学校音楽科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校音楽科の授業設計を行い、小学校音楽科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校音楽科の授業設計を行い、小学校音楽科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A3,B4)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考、学力及び技能等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場面を想定して、小学校音楽科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A4,A5,B6)
 - 3) 振り返り 小学校音楽科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-B4,B5,B6)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕 小学校音楽科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■ 小学校音楽科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校音楽科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■ 小学校音楽科の授業実践に求められる小学校音楽科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校音楽科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p>小学校音楽科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校音楽科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な歌唱についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,A5)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な器楽についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,A5)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な音楽づくりについての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,A5)
 - 4) 教科の領域・項目・分野4に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な鑑賞についての知識、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,A5)

(2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校音楽科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p>小学校音楽科の授業実践に求められる小学校音楽科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な歌唱についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,A5,B3,B6)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な器楽についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,A5,B3,B6)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な音楽づくりについての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,A5,B3,B6)
 - 4) 教科の領域・項目・分野4に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な鑑賞についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,A5,B3,B6)

(7) 図画工作科

第5案様式 [1] 小学校図画工作科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校図画工作科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校図画工作科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校図画工作科の授業設計を行い、小学校図画工作科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** 小学校図画工作科の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校図画工作科の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** 小学校図画工作科の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された小学校各教科の目標、育成を目指す資質・能力及び造形的な見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1, A2, A3, B1, B2)
 - 2) **教科の内容** 小学校図画工作科の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された小学校図画工作科の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A3, A4, A5, B1, B2)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校図画工作科の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A3, A4, A5, B3, B4, B5)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** 小学校図画工作科の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された小学校図画工作科の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3, B4, B6, B7)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** 小学校図画工作科の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校図画工作科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** 小学校図画工作科の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考、知識及び技能等の発達論や、創造活動における学習論を理解している。
(SPeC-A4, A5, B5)
 - 2) **指導論** 小学校図画工作科の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、参考作品等の教材及び資料（ワークシートや掲示物を含む）の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B3, B4, B5, B6, B7, C5)
 - 3) **学習評価** 小学校各教科の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B2, B4, B5, C3)

(3) 指導的实践力 小学校図画工作科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校図画工作科の授業設計を行い、小学校図画工作科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校図画工作科の授業設計を行い、小学校図画工作科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A4, A5, B1, B2, B3, B4, B5, B6, B7)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考及び表現力、知識及び技能等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場面を想定して、小学校図画工作科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-B3, B4, B5, B6)
 - 3) 振り返り 小学校図画工作科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-B2, B3, B4, B5)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕 小学校図画工作科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■ <u>小学校図画工作科</u>の授業実践に求められる基礎的・基本的な<u>小学校図画工作科</u>の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■ <u>小学校図画工作科</u>の授業実践に求められる<u>小学校図画工作科</u>の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- (1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校図画工作科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p><u>小学校図画工作科</u>の授業実践に求められる基礎的・基本的な<u>小学校図画工作科</u>の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標： 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な表現についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A3, A4, A5)
- 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な鑑賞についての知識及び方法、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A3, A4, A5)

- (2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校図画工作科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p><u>小学校図画工作科</u>の授業実践に求められる<u>小学校図画工作科</u>の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標： 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な表現についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A4, A5, B3, B6, B7)
- 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な鑑賞についての教材研究等に必要な知識及び方法を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A4, A5, B3, B6, B7)

(8) 体育科

第5案様式 [1] **小学校体育科**の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校体育科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校体育科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校体育科の授業設計を行い、小学校体育科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** **小学校体育科**の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された 小学校体育科 の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** **小学校体育科**の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された**小学校体育科**の目標、育成を目指す資質・能力及び**体育や保健**の見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1,B1,B2,B7)
 - 2) **教科の内容** **小学校体育科**の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された**小学校体育科**の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A2,A4,B1,B2)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された**小学校体育科**の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A5,B3,B4)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** **小学校体育科**の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された**小学校体育科**の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A4,B4)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** **小学校体育科**の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校体育科 の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** **小学校体育科**の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考、技能、社会性及び学力等の発達論や、問題解決学習等の学習論を理解している。
(SPeC-A1,B4,B5)
 - 2) **指導論** **小学校体育科**の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、運動学習や保健学習の教材及び学習を促す教具や資料の効果的な活用、小集団学習等の適切な学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B3,B4,B5,C5)
 - 3) **学習評価** **小学校体育科**の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B3,B4,B5,C3)

(3) 指導的实践力 小学校体育科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校体育科の授業設計を行い、小学校体育科の学習指導案をもとに授業場면을想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校体育科の授業設計を行い、小学校体育科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A4,A5,B3,B4,B5,B6)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考、技能、社会性及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場면을想定して、小学校体育科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A4,A5,B3,B4,B5)
 - 3) 振り返り 小学校体育科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-B3,B4,B5)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕小学校体育科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■小学校体育科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校体育科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■小学校体育科の授業実践に求められる小学校体育科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) 教科に固有の資質・能力・見方・考え方 小学校体育科知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p>小学校体育科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校体育科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

到達目標： 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な運動領域（体づくり運動系、器械運動系、陸上運動系、水泳運動系、ボール運動系、表現運動系）についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-AA1,A2,A3,A4,A5)

2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な保健領域（健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防）についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A3,A4,A5)

(2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校体育科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p>小学校体育科の授業実践に求められる小学校体育科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

到達目標： 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な運動領域（体づくり運動系、器械運動系、陸上運動系、水泳運動系、ボール運動系、表現運動系）についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A4,A5,B3,B4,B5)

2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な保健領域（健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止、病気の予防）についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A4,A5,B3,B4,B5)

(9) 生活科

第5案様式 [1] **小学校生活科**の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校生活科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校生活科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校生活科の授業設計を行い、小学校生活科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** **小学校生活科**の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された 小学校生活科 の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** **小学校生活科**の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された**小学校生活科**の目標、育成を目指す資質・能力及び児童の発達の段階に応じた自然や社会の見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1, B1, B6, B7)
 - 2) **教科の内容** **小学校生活科**の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された**小学校生活科**の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A2, B3)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された**小学校生活科**の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A2, B3, B4, B5, B6)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** **小学校生活科**の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された**小学校生活科**の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3, A5, B4, B5, B6, B7)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** **小学校生活科**の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校生活科 の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** **小学校生活科**の指導方法に関連させて、子どもの気付きや発見に関する認識、思考及び学力等の発達論や、幼児期における遊びを通した総合的な学び等の学習論を理解している。
(SPeC-A3, A4, B2, B4)
 - 2) **指導論** **小学校生活科**の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、自分自身、身近な人々、社会及び自然との関わりを深める教材及び教具・資料の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B4, C5)
 - 3) **学習評価** **小学校生活科**の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B5, C3)

(3) 指導的实践力 小学校生活科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校生活科の授業設計を行い、小学校生活科の学習指導案をもとに授業場면을想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校生活科の授業設計を行い、小学校生活科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A2, B5)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場면을想定して、小学校生活科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A3, A4, A5, B5)
 - 3) 振り返り 小学校生活科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-A2, A5, B5)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式〔2〕**小学校生活科**に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■小学校生活科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校生活科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■小学校生活科の授業実践に求められる小学校生活科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) **教科に固有の資質・能力、見方・考え方** **小学校生活科**の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	小学校生活科 の授業実践に求められる基礎的・基本的な 小学校生活科 の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の領域・項目・分野 1**に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な**学校、家庭及び地域の生活に関する内容**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A3, A4)
 - 2) **教科の領域・項目・分野 2**に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な**身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A3, A4)
 - 3) **教科の領域・項目・分野 3**に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な**児童の生活や成長に関する内容**についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1, A2, A3, A4)

(2) **教科に固有の背景となる知識及び技能** **小学校生活科**の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	小学校生活科 の授業実践に求められる 小学校生活科 の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の領域・項目・分野 1**に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な**学校、家庭及び地域の生活に関する内容**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1, A3, A4, B3, B5)
 - 2) **教科の領域・項目・分野 2**に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な**身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1, A3, A4, B3, B5)
 - 3) **教科の領域・項目・分野 3**に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な**児童の生活や成長に関する内容**についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1, A3, A4, B3, B5, B6)

(10) 家庭科

第5案様式 [1] **小学校家庭科**の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校家庭科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校家庭科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校家庭科の授業設計を行い、小学校家庭科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

(1) **学習指導要領に関する知識** **小学校家庭科**の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された 小学校家庭科 の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** **小学校家庭科**の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された**小学校家庭科**の目標、育成を目指す資質・能力及び生活の営みに係る見方・考え方について理解している。
(SPeC-A1,A2,B1,B2,B8)
 - 2) **教科の内容** **小学校家庭科**の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された**小学校家庭科**の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-A3,A4,B1,B3)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された**小学校家庭科**の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A4,A5,B3,B4)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** **小学校家庭科**の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された**小学校家庭科**の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3,B4,B5,B6,B7)

(2) **学習指導の背景となる知識及び技能** **小学校家庭科**の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校家庭科の指導方法 に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** **小学校家庭科**の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考及び学力等の発達論や、問題解決学習等の学習論を理解している。
(SPeC-A4,B3,B8)
 - 2) **指導論** **小学校家庭科**の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、実験・実習等の教具やワークシート等の教材及び資料の効果的な活用、小集団学習等の学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-B3,B4,B5,B6,B7,C5)
 - 3) **学習評価** **小学校家庭科**の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B3,B5,C3)

(3) 指導的实践力 小学校家庭科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校家庭科の授業設計を行い、小学校家庭科の学習指導案をもとに授業場면을想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 授業づくり 小学校家庭科の授業設計を行い、小学校家庭科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B3,B4,B5)
 - 2) 模擬授業 子どもの認識、思考及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場면을想定して、小学校家庭科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A3,A4,B4,B5)
 - 3) 振り返り 小学校家庭科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-A3,A4,B4,B5)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕 小学校家庭科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■ <u>小学校家庭科</u>の授業実践に求められる基礎的・基本的な<u>小学校家庭科</u>の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■ <u>小学校家庭科</u>の授業実践に求められる<u>小学校家庭科</u>の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

(1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校家庭科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	<p><u>小学校家庭科</u>の授業実践に求められる基礎的・基本的な<u>小学校家庭科</u>の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な家族・家庭生活についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な衣食住の生活についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な消費生活・環境についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4)

(2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校家庭科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	<p><u>小学校家庭科</u>の授業実践に求められる<u>小学校家庭科</u>の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な家族・家庭生活についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,B4,B5)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な衣食住の生活についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,B4,B5)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な消費生活・環境についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A2,A3,A4,B4,B5)

(11) 外国語（英語）科

第5案様式 [1] 小学校外国語（英語）科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）【2単位程度を想定】

全体目標：	<p>■背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校外国語（英語）科の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解する。</p> <p>■小学校外国語（英語）科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付ける。</p> <p>■小学校外国語（英語）科の授業設計を行い、小学校外国語（英語）科の学習指導案をもとに授業場面を想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。</p>
-------	---

- (1) **学習指導要領に関する知識** 小学校外国語（英語）科の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いの理解

一般目標：	背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校外国語（英語）科の目標、内容、指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解する。
-------	---

- 到達目標：
- 1) **教科の特質、教科の目標** 小学校外国語（英語）科の役割とその性格を踏まえて、学習指導要領に示された小学校外国語（英語）科の目標、育成を目指す資質・能力及び外国語（英語）的な見方・考え方について理解している。
(SPeC-A3,A5,B1,B3,B4,B5,B6)
 - 2) **教科の内容** 小学校外国語（英語）科の内容構成の把握のもとで、学習指導要領に示された小学校外国語（英語）科の内容及び内容事項について理解している。
(SPeC-B2,B3,B4,B5,B6)
 - 3) **教材開発・授業設計の視点** 背景となる学問領域と関連させて、学習指導要領に示された小学校外国語（英語）科の個別の内容事項について、教材開発及び授業設計に求められる視点を理解している。
(SPeC-A1,A2,A4,B1,B2,B3,B4,B5,B6)
 - 4) **指導計画の作成及び内容の取扱い** 小学校外国語（英語）科の授業設計及び指導方法の留意点として、学習指導要領解説に示された小学校外国語（英語）科の指導計画の作成及び内容の取扱いについて理解している。
(SPeC-A3,A4,B2,B3,B4,B5,B6)

- (2) **学習指導の背景となる知識及び技能** 小学校外国語（英語）科の学習指導に関する知識及び技能

一般目標：	小学校各教科の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識及び技能を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **発達論・学習論** 小学校外国語（英語）科の指導方法に関連させて、子どもの認識、思考、学力及び言語能力等の発達論や、第二言語習得論、協働学習等の学習論を理解している。
(SPeC-A5,B2,B4,B5,B6)
 - 2) **指導論** 小学校外国語（英語）科の指導方法に関連させて、授業設計に適切な指導方法の選択、情報機器、音声・映像メディア等の教材及び資料の効果的な活用、コミュニケーションな言語使用を促す学習形態の設定や、他教科との関わり等の指導論を理解している。
(SPeC-A2,A3,A4,A5,B1,B2,B4,B5,B6,B7,C5)

- 3) **学習評価** 小学校外国語（英語）科の指導方法に関連させて、学習評価の基礎的な考え方を理解している。
(SPeC-B3,B4,B5,B6,C3)

(3) **指導的実践力** 小学校外国語（英語）科の授業設計及び授業実践力

一般目標：	小学校外国語（英語）科の授業設計を行い、小学校外国語（英語）科の学習指導案をもとに授業場면을想定することを通して、授業を実践するための基礎を身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) **授業づくり** 小学校外国語（英語）科の授業設計を行い、小学校外国語（英語）科の学習指導案を作成する基礎的な技能を身に付けている。
(SPeC-A4,B1,B2,B4,B5)
 - 2) **模擬授業** 子どもの認識、思考及び学力等の実態に対して、効果的な指導方法を取り入れる授業場면을想定して、小学校外国語（英語）科の模擬授業を行うことができる。
(SPeC-A4,B1,B5,B6)
 - 3) **振り返り** 小学校外国語（英語）科の模擬授業の振り返りを通して、模擬授業の成果と課題を把握し、授業改善の視点を身に付けている。
(SPeC-B4,B6)

教職課程コアカリには、専門的事項の記述がないため、英語コアカリの「〔2〕外国語に関する専門的事項 【1単位程度を想定】」の内容を見ながら作成。ただし、教職課程コアカリと同様に「全体目標」「一般目標」「到達目標」で記述した。）

第5案様式 〔2〕小学校外国語（英語）科に関する専門的事項 【1単位程度を想定】

全体目標：	<p>■小学校外国語（英語）科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校外国語（英語）科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p> <p>■小学校外国語（英語）科の授業実践に求められる小学校外国語（英語）科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。</p>
-------	---

- (1) 教科に固有の資質・能力、見方・考え方 小学校外国語（英語）科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等

一般目標：	小学校外国語（英語）科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校外国語（英語）科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な英語運用力（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A4)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な英語の言語的特徴についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2)
 - 3) 教科の領域・項目・分野3に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な児童文学を含む英語の素材についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1)
 - 4) 教科の領域・項目・分野4に関する資質・能力 授業実践に求められる基礎的・基本的な英語のグローバルな使用の背景となる異文化理解についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A4,A5)

- (2) 教科に固有の背景となる知識及び技能 小学校外国語（英語）科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能

一般目標：	小学校外国語（英語）科の授業実践に求められる小学校外国語（英語）科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付ける。
-------	--

- 到達目標：
- 1) 教科の領域・項目・分野1に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な英語運用力（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A4,B1,B7)
 - 2) 教科の領域・項目・分野2に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な英語の言語的特徴についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,B1,B3)

- 3) 教科の領域・項目・分野 3 に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な児童文学を含む英語の素材についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1)
- 4) 教科の領域・項目・分野 4 に関する背景となる知識及び技能 授業実践に求められる基礎的・基本的な英語のグローバルな使用の背景となる異文化理解についての教材研究等に必要な知識及び技能を身に付けている。
(SPeC-A1,A2,A4,A5,B3)

第3節 各教科のコアカリキュラム対応のシラバス



(1) シラバス様式

授業科目名： 各教科 教育法Ⅰ＜コアカリキュラム・静大共通版＞	教員の免許状取得のための必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：磯山恭子、村井大介
			担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校 各教科 ）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の指導法		
授業の到達目標及びテーマ			
SPeC教科力 この授業では、小学校教員として必要な 各教科 に関する教科指導力を身につけることを目指します。 コアカリ全体目標 この授業を通じて、小学校 各教科 の目標、内容及び内容の取扱い、指導計画の作成について理解します。また、小学校 各教科 の指導方法に関連させて、背景となる基礎的な学習指導に関する知識・技能を身に付けます。さらに、小学校 各教科 の授業設計を行い、授業を実践するための基礎を身に付けます。			
授業の概要			
免許法上の位置 この授業は、各教科教育法Ⅰとともに、小学校の教員免許状を取得するために、履修しなければならない教職科目です。			
授業の目的 この授業の目的は、2年次後期以降の教育実習に向けて、 SPeCから自由に選択する等、自由に記述 【例：社会科】社会科の理念及び背景、小学校社会科の学習指導、小学校社会科の目標、内容及び内容の取扱い等、小学校社会科の現代的な課題について、社会科教育の理論と実践を往還しながら、学ぶことです。			
授業の概要等 「授業では、」ではじめて、授業に応じて自由に記述：【例：社会科】授業の前半では、小学校社会科学習指導要領をもとに、社会科の背景及び理念、小学校社会科の学習指導、小学校社会科の目標、内容及び内容の取扱い等、小学校社会科の現代的な課題の理解を深めます。授業の後半では、授業の前半の学びを生かして、小学校社会科の授業設計の一部を想定し、子どもの問題解決学習の視点から、調べてまとめたことをもとに、発表を踏まえて振り返りを行います。 情報機器・主体的で対話的な深い学び対応文 この授業では、ICTを活用する学習方法や小集団学習を導入する学習形態への知見を高めるために、適宜、ICTを活用する表現活動や小集団による討論などに取り組みます。			
授業計画 授業に応じて自由に計画 【例：社会科】			
第1回： 各教科 教育法Ⅰの学びの方針（オリエンテーション、 社会の変化と子ども ）＜磯山恭子、村井大介＞ 到達目標(1)-1)			
第2回： 社会科の理念及び背景(1)（社会科の教科構造、社会科の目標） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-1)			
第3回： 社会科の理念及び背景(2)（社会科の歴史、問題解決学習） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-1)、(2)-1)			
第4回： 小学校社会科の学習指導(1)（社会科授業と指導技術） ＜磯山恭子＞ 到達目標(2)-1)、(2)-2)、(2)-3)			
第5回： 小学校社会科の学習指導(2)（社会科授業と子ども理解、学習評価） ＜磯山恭子＞ 到達目標(2)-1)、(2)-2)、(2)-3)			
第6回： 小学校社会科の学習指導(3)（社会科のカリキュラム） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-3)、(2)-1)、(2)-2)			
第7回： 小学校社会科の内容及び内容の取扱い等(1)（第3学年・第4学年） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-1)、(1)-2)			
第8回： 小学校社会科の内容及び内容の取扱い等(2)（第5学年） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-1)、(1)-2)			
第9回： 小学校社会科の内容及び内容の取扱い等(3)（第6学年） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-1)、(1)-2)			
第10回： 小学校社会科の現代的な課題(1)（シティズンシップ教育、社会参加学習） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-4)			
第11回： 小学校社会科の現代的な課題(2)（権利と責任を考える教育） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-4)			
第12回： 小学校社会科の現代的な課題(3)（多様性を認め合う教育） ＜磯山恭子＞ 到達目標(1)-4)			
第13回： 子どもの問題解決学習の提案(1)（調査、まとめ） ＜村井大介＞ 到達目標(2)-3)、(2)-4)			
第14回： 子どもの問題解決学習の提案(2)（発表） ＜村井大介＞ 到達目標(2)-3)、(2)-4)			
第15回： 各教科 教育法Ⅰのまとめ＜村井大介＞ 到達目標(2)-3)、(2)-4)			
定期試験を実施します。			
テキスト			
【例：社会科】 授業中に資料を配布します。学生の問題関心を勘案して、適宜指示をします。			
参考書・参考資料等			
文部科学省『小学校学習指導要領解説 各教科 編』			
【例：社会科】 帝国書院編集部『楽しく学ぶ小学生の地図帳』帝国書院、2017年6月。			
学生に対する評価			
【例：社会科】 授業への取り組み30%（授業参加、毎回のグループ討論の状況など）、提出物がある場合はその内容、グループ課題の取り組み20%、試験50%など、いくつかの観点から総合的に判断します。			

【コアカリ対応のシラバス作成上の留意事項】

黒字：変更しません。担当教員名を変えます。

- ＊授業計画の第1回目と第15回目は揃えます。第1回には、大学教育の授業として、ガイダンスやオリエンテーションだけでなく、授業を一貫するテーマ・キーワード等を入れて下さい。第15回目はまとめです。

 ：記載事項見出しです。基本的に赤色の見出しが、自由記述になります。コアカリ、SPeC とある場合には、それに基づいて書きます。

オレンジ：教科名や教科の領域等を入れます。

赤字：自由に記載します。教科教育法は、小学校教科教育法以外に、中等教科教育法Ⅰ～Ⅳがあります。各教科の特色に起因する学生の学びの系統性について、各教科で考え方が全く異なっています。そのため、全ての教科で統一を図ることはできないと考えます。ただし、コアカリにある文言を適宜活用して下さい。



青字：該当する到達目標を書きます。

授業科目名：専門基礎各教科＜コアカリキュラム版＞	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：1単位	担当教員名：中條暁仁、佐藤正志、矢野敬一、伊藤宏二、西野肇、米原優 担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校 各教科）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の専門的事項		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>SPeC 教科力 この授業では、小学校教員として必要な各教科に関する教科力を身につけることを目指します。コアカリ全体目標 この授業を通じて、小学校各教科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校各教科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付けます。さらに、小学校各教科の授業実践に求められる小学校各教科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場面を意識しながら身に付けます。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>免許法上の位置 この授業は、専門基礎各教科とともに、小学校の教員免許状を取得するために、履修しなければならない教職科目です。</p> <p>授業の目的 この授業の目的は、2年次後期以降の教育実習に向けて、SPeCから自由に選択【例：社会科】社会科の目指す人間形成の視点から、小学校社会科の授業実践の基盤となる社会科の学問体系、社会科の社会的・文化的価値、社会科の研究手法や授業方法、社会科の学問領域間の接合、対話力・表現力・実践力を、授業場面を意識しながら学ぶことです。</p> <p>授業の概要等 授業では、授業に応じて自由に記述【例：社会科】小学校社会科学学習指導要領・社会科教科書等の背景を探ることで、基礎的・基本的な小学校社会科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等の理解を深めます。また、フィールドワークや体験、活動等を通じて、基礎的・基本的な小学校社会科の教材研究等に必要な知識及び技能の理解を深めます。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス 専門基礎各教科の学びの方針（オリエンテーション、授業を一貫するテーマ・キーワード等【例：社会科】社会的な見方・考え方、国家・社会・地域と公民・市民・子ども）＜西野肇、米原優＞ 到達目標(1)-1)、(1)-2)、(1)-3)</p> <p>第2回：コアカリ到達目標(1)-1) 教科の領域・項目・分野 1 についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(1)-1)</p> <p>第3回：コアカリ到達目標(2)-1) 教科の領域・項目・分野 1 についての教材研究等に必要な知識及び技能＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(2)-1)</p> <p>第4回：コアカリ到達目標(1)-2) 教科の領域・項目・分野 2 についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等＜矢野敬一、伊藤宏二＞ 到達目標(1)-2)</p> <p>第5回：コアカリ到達目標(2)-2) 教科の領域・項目・分野 2 についての教材研究等に必要な知識及び技能＜矢野敬一、伊藤宏二＞ 到達目標(2)-2)</p> <p>第6回：コアカリ到達目標(1)-3) 教科の領域・項目・分野 3 についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等＜西野肇、米原優＞ 到達目標(1)-3)</p> <p>第7回：コアカリ到達目標(2)-3) 教科の領域・項目・分野 3 についての教材研究等に必要な知識及び技能＜西野肇、米原優＞ 到達目標(2)-3)</p> <p>第8回：まとめ 専門基礎各教科のまとめ＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(2)-1)、(2)-2)、(2)-3)</p> <p>定期試験</p>			
<p>テキスト</p> <p>【例：社会科】授業中に資料を配布します。学生の問題関心を勘案して、適宜指示をします。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領解説各教科編』</p> <p>【例：社会科】帝国書院編集部『楽しく学ぶ小学生の地図帳』帝国書院、2017年6月。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>【例：社会科】授業への取り組み30%（授業参加、毎回のグループ討論の状況など）、提出物がある場合はその内容、グループ課題の取り組み20%、試験50%など、いくつかの観点から総合的に判断します。</p>			

シラバス様式

黒字：変更しません。もちろん担当教員名を変えます。

＊第 1 回目と第 8 回目は揃えて下さい。第 1 回には、大学教育の授業として、ガイダンスやオリエンテーションだけでなく、授業を一貫するテーマ・キーワード等を入れて下さい。第 8 回目はまとめです。これらの間は領域数を勘案して、うまく配分して下さい。

 ：記載事項見出しです。基本的に赤色の見出しが、自由記述になります。コアカリ、SPeC とある場合には、それに基づいて書きます。

オレンジ：教科名や教科の領域等を入れます。

赤字：自由に記載します。



青字：該当する到達目標を書きます。

授業科目名：専門基礎各教科Ⅰ＜静岡大学版＞		教員の免許状取得のための必修科目	単位数：1単位	担当教員名：中條暁仁、佐藤正志、矢野敬一、伊藤宏二、西野肇、米原優
				担当形態：オムニバス
科 目		教科及び教科の指導法に関する科目（小学校 社会）		
施行規則に定める科目区分又は事項等		各教科の専門的事項		
授業の到達目標及びテーマ				
SPeC 教科力この授業では、小学校教員として必要な各教科に関する教科力を身につけることを目指します。コアカリ一般目標(1)この授業を通じて、小学校各教科の授業実践に求められる基礎的・基本的な小学校各教科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を、授業場面を意識しながら身に付けます。				
授業の概要				
免許法上の位置この授業は、専門基礎各教科とともに、小学校の教員免許状を取得するために、履修しなければならない教職科目です。				
授業の目的この授業の目的は、2年次後期以降の教育実習に向けて、SPeCから自由に選択【例：社会科】社会科の目指す人間形成の視点から、小学校社会科の授業実践の基盤となる社会科の学問体系、社会科の社会的・文化的価値を、授業場面を意識しながら学ぶことです。				
授業の概要等授業では、授業に応じて自由に記述【例：社会科】小学校社会科学習指導要領・社会科教科書等の背景を探索することで、基礎的・基本的な小学校社会科の知識及び技能、思考力・判断力・表現力等の理解を深めます。				
授業計画				
第1回：ガイダンス専門基礎各教科Ⅰの学びの方針（オリエンテーション、授業を一貫するテーマ・キーワード等【例：社会科】社会的な見方・考え方、国家・社会と公民・市民）＜西野肇、米原優＞ 到達目標(1)-1、(1)-2、(1)-3				
第2回：コアカリ到達目標(1)-1教科の領域・項目・分野 1についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等(1)（【例：社会科】第3学年、第4学年）＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(1)-1				
第3回：コアカリ到達目標(1)-1教科の領域・項目・分野 1についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等(2)（【例：社会科】第5学年、第6学年）＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(1)-1				
第4回：コアカリ到達目標(1)-2教科の領域・項目・分野 2についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等(1)（【例：社会科】第3学年、第4学年）＜矢野敬一、伊藤宏二＞ 到達目標(1)-2				
第5回：コアカリ到達目標(1)-2教科の領域・項目・分野 2についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等(2)（【例：社会科】第5学年、第6学年）＜矢野敬一、伊藤宏二＞ 到達目標(1)-2				
第6回：コアカリ到達目標(1)-3教科の領域・項目・分野 3についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等(1)（【例：社会科】第3学年、第4学年）＜西野肇、米原優＞ 到達目標(1)-3				
第7回：コアカリ到達目標(1)-3教科の領域・項目・分野 3についての知識及び技能、思考力・判断力・表現力等(2)（【例：社会科】第5学年、第6学年）＜西野肇、米原優＞ 到達目標(1)-3				
第8回：まとめ専門基礎各教科Ⅰのまとめ＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(1)-1、(1)-2、(1)-3				
定期試験				
テキスト				
【例：社会科】授業中に資料を配布します。学生の問題関心を勘案して、適宜指示をします。				
参考書・参考資料等				
文部科学省『小学校学習指導要領解説社会編』				
【例：社会科】帝国書院編集部『楽しく学ぶ小学生の地図帳』帝国書院、2017年6月。				
学生に対する評価				
【例：社会科】授業への取り組み30%（授業参加、毎回のグループ討論の状況など）、提出物がある場合はその内容、グループ課題の取り組み20%、試験50%など、いくつかの観点から総合的に判断します。				

【コアカリ対応のシラバス作成上の留意事項】

黒字：変更しません。もちろん担当教員名を変えます。

＊第 1 回目と第 8 回目は揃えて下さい。第 1 回には、大学教育の授業として、ガイダンスやオリエンテーションだけでなく、授業を一貫するテーマ・キーワード等を入れて下さい。第 8 回目はまとめです。これらの間は領域数を勘案して、うまく配分して下さい。

 ：記載事項見出しです。基本的に赤色の見出しが、自由記述になります。コアカリ、SPeC とある場合には、それに基づいて書きます。

オレンジ：教科名や教科の領域等を入れます。

赤字：自由に記載します。



青字：該当する到達目標を書きます。

授業科目名：専門基礎各教科Ⅱ＜静岡大学版＞	教員の免許状取得のための必修科目	単位数：1単位	担当教員名：中條暁仁、佐藤正志、矢野敬一、伊藤宏二、西野肇、米原優 担当形態：オムニバス
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校 各教科）		
施行規則に定める科目区分又は事項等	各教科の専門的事項		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>SPeC 教科力 この授業では、小学校教員として必要な各教科に関する教科力を身につけることを目指します。コアカリ一般目標(2) この授業を通じて、小学校各教科の授業実践に求められる小学校各教科の学習指導のための教材研究等に必要な知識及び技能を、授業場면을意識しながら身に付けます。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>免許法上の位置 この授業は、専門基礎各教科とともに、小学校の教員免許状を取得するために、履修しなければならない教職科目です。</p> <p>授業の目的 この授業の目的は、2年次後期以降の教育実習に向けて、SPeCから自由に選択【例：社会科】 専門基礎社会Ⅰで学んだことをもとに、社会科の目指す人間形成の視点から、小学校社会科の授業実践の基盤となる社会科の研究手法や授業方法、社会科の学問領域間の接合、対話力・表現力・実践力を、授業場면을意識しながら学ぶことです。</p> <p>授業の概要等 授業では、授業に応じて自由に記述【例：社会科】 フィールドワークや体験、活動等を通じて、基礎的・基本的な小学校社会科の教材研究等に必要な知識及び技能の理解を深めます。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス 専門基礎各教科Ⅱの学びの方針（オリエンテーション、授業を一貫するテーマ・キーワード等【例：社会科】 地域と子ども）＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(2)-1)、(2)-2)、(2)-3)</p> <p>第2回：コアカリ到達目標(2)-1) 教科の領域・項目・分野 1 についての教材研究等に必要な知識及び技能 (1)（【例：社会科】第3学年、第4学年）＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(2)-1)</p> <p>第3回：コアカリ到達目標(2)-1) 教科の領域・項目・分野 1 についての教材研究等に必要な知識及び技能 (2)（【例：社会科】第5学年、第6学年）＜中條暁仁、佐藤正志＞ 到達目標(2)-1)</p> <p>第4回：コアカリ到達目標(2)-2) 教科の領域・項目・分野 2 についての教材研究等に必要な知識及び技能 (1)（【例：社会科】第3学年、第4学年）＜矢野敬一、伊藤宏二＞ 到達目標(2)-2)</p> <p>第5回：コアカリ到達目標(2)-2) 教科の領域・項目・分野 2 についての教材研究等に必要な知識及び技能 (2)（【例：社会科】第5学年、第6学年）＜矢野敬一、伊藤宏二＞ 到達目標(2)-2)</p> <p>第6回：コアカリ到達目標(2)-3) 教科の領域・項目・分野 3 についての教材研究等に必要な知識及び技能 (1)（【例：社会科】第3学年、第4学年）＜西野肇、米原優＞ 到達目標(2)-3)</p> <p>第7回：コアカリ到達目標(2)-3) 教科の領域・項目・分野 3 についての教材研究等に必要な知識及び技能 (2)（【例：社会科】第5学年、第6学年）＜西野肇、米原優＞ 到達目標(2)-3)</p> <p>第8回：まとめ 専門基礎各教科Ⅱのまとめ＜西野肇、米原優＞ 到達目標(2)-1)、(2)-2)、(2)-3)</p> <p>定期試験</p>			
<p>テキスト</p> <p>【例：社会科】 授業中に資料を配布します。学生の問題関心を勘案して、適宜指示をします。</p>			
<p>参考書・参考資料等</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領解説各教科編』 【例：社会科】 帝国書院編集部『楽しく学ぶ小学生の地図帳』帝国書院、2017年6月。</p>			
<p>学生に対する評価</p> <p>【例：社会科】 授業への取り組み30%（授業参加、毎回のグループ討論の状況など）、提出物がある場合はその内容、グループ課題の取り組み20%、試験50%など、いくつかの観点から総合的に判断します。</p>			

【コアカリ対応のシラバス作成上の留意事項】

黒字：変更しません。もちろん担当教員名を変えます。

＊第 1 回目と第 8 回目は揃えて下さい。第 1 回には、大学教育の授業として、ガイダンスやオリエンテーションだけでなく、授業を一貫するテーマ・キーワード等を入れて下さい。第 8 回目はまとめです。これらの間は領域数を勘案して、うまく配分して下さい。

 ：記載事項見出しです。基本的に赤色の見出しが、自由記述になります。コアカリ、SPeC とある場合には、それに基づいて書きます。

オレンジ：教科名や教科の領域等を入れます。

赤字：自由に記載します。

青字：該当する到達目標を書きます。

調査研究に関わった構成員

菅野文彦（教育学部長）

江口尚純（教育学部副学部長）

熊倉啓之（教育学部副部長）

<国語教育>

杉崎哲子
坂口京子
大塚 浩
江口尚純
中村ともえ
高野奈未
深津周太

<社会科教育>

黒川みどり
笹沼弘志
矢野敬一
池田恵子
磯山恭子
西野 肇
山田 智
伊藤宏二
中條暁仁
米原 優
佐藤正志
村井大介

<数学教育>

熊倉啓之
山田耕三
裕元新一郎
大和田智義
谷本龍二
畑 宏明
四之宮佳彦

<理科教育>

板垣秀幸
熊野善介
小山真人
丹沢哲郎
小南陽亮
鳥居 肇
延原尊美
栗原 誠
古賀幹人
郡司賀透
本多和仁
雪田 聡
加藤英明
内山秀樹

<音楽教育>

北山敦康
寶福英樹
志民一成
長谷川慎
長谷川慶岳
後藤友香理
服部慶子

<美術教育>

白井嘉尚
大宮康男
伊藤文彦
芳賀正之
高橋智子
川原崎知洋
名倉達了

<保健体育>

横山義昭
谷 健二
河合 学
新保 淳
鈴江 毅
杉山康司
岡端 隆
鎌塚優子
赤田信一
矢野潔子
野津一浩
祝原 豊
杉山卓也
村田真一
山崎朱音

<技術教育>

松永泰弘
紅林秀治
藤井道彦
八柳祐一
鄭 基浩
改正清広
室伏春樹

<家庭科教育>

小川裕子
澤渡千枝
色川卓男
村上陽子
冬木春子
小清水貴子
竹下温子

<英語教育>

内田 恵
白畑知彦
森野和弥
矢野 淳
丸山 修
河村道彦
Clements Peter
亘理陽一

<教職専門>

長谷川哲也
(教育実践総合センター)
河崎美保
塩田真吾
島田桂吾 ほか

平成 29 年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業
(テーマ 7 教科教育モデルコアカリキュラムの策定事業)
研究成果報告書

発行日 2018 (平成 30) 年 3 月 31 日

- 発行 静岡大学教育学部
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836
- 編集 静岡大学教育学部 小学校教科教育モデルコアカリキュラム事業推進委員会
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836
- 印刷 サイトー印刷株式会社
〒424-0911 静岡県静岡市清水区宮加三 742-1

本文中無断転載を禁じます (詳細は表紙裏面)